

『国際安全保障』執筆要領

『国際安全保障』編集委員会

- ・節の構成は、序論部分と結論部分を除き、節は1、項は(1)とする。序論と結論の名称(「はじめに」「序説」「問題設定」「結論」「まとめ」「結びにかえて」等)の選択は、執筆者の判断に任される。
- ・本文に初出する人名は原則としてフルネームとするが、非漢字使用圏における人名は姓のみをカタカナ表記した後、カッコ内に姓名のアルファベット表記を付す。同姓の人物が複数登場する場合は、区別可能な形で表記する。ミドルネーム、イニシャルは原則的に省略する。
(例) ケネディ (John Kennedy) 政権、ジョージ・H・W・ブッシュ (George H. W. Bush) 大統領、ジョージ・W・ブッシュ (George W. Bush) 大統領、セオドア・ローズヴェルト (Theodore Roosevelt) 大統領
- ・算用数字とアルファベットはすべて半角を用いる(1ケタの数字も半角)。他はすべて全角を用いる。
- ・単位については原則的に記号を用いる。
(例) 5%、2 kg、1,300 km、4.9 kt
- ・英語で日付を表記する際は、「月日年」で統一する。
(例) August 25, 2009、Aug 25, 2009

出典注の様式について

【日本語文献】

1. 初出の引用・参照

- ①【単行本】著者名『書名』翻訳者名、出版社、出版年、頁。
- ②【論文】著者名「論文名」『掲載誌名』巻号数、発行年月、頁。
- ③【新聞】『新聞名』発行年月日(夕刊の場合は明示)。
*新聞の場合、著者名、記事名は特に必要がある場合のみ表記する。

2. 2度目の引用・参照

- ①「著者姓、著書あるいは論文の略称、頁。」のように表記する。
- ②但し、同一資料を直後に引用・参照する場合、「同上、頁。」のように表記する。
*「前掲書」、「前掲論文」の表記は使用しない。
*1つの注において複数文献を引用する場合は、全角セミコロン(;)でつなぐ。
*引用・参照頁が複数にわたる場合、頁番号は完全表示とする。(例) 145-149頁。
*書名、論文名は、2度目以降の引用・参照については略称を用いてよい。
*著者などが4人以上の場合は、「○○他」を用いてよい。

(範例)

- (1) 西原正、堀本武功編『軍事大国化するインド』亜紀書房、2010年、15頁；外務省編『外交青書』第1部、平成11年度版、大蔵省印刷局、1999年、9-11、39、114-115頁；『日本経済新聞』2003年6月3日。
- (2) 防衛庁・自衛隊「石破長官会見概要」2003年5月31日。

- (3) ポール・ジアラ、長島昭久「新しい日米同盟を維持するための処方箋—ポスト冷戦期に必要な日米同盟の機構改革」リンダマン中島香織訳、マイケル・グリーン、パトリック・クローニン編『日米同盟—米国の戦略』川上高司監訳、勁草書房、1999年、112-113頁；E・H・カー『危機の二十年—1919-1939』井上茂訳、岩波文庫、1996年、55頁。
- (4) ジアラ、長島「新しい日米同盟」105-112頁。
- (5) 石津朋之「解題リデルハート—その虚像と実像」石津朋之編『戦略論大系④リデルハート』芙蓉書房、2002年、252-257頁。
- (6) 同上、262-75頁。
- (7) 梅本哲也「中国の擡頭と米国の外交・安全保障政策—『アジア回帰』の背景」平成23年度外務省国際問題調査研究・提言事業報告書『日米中関係の中長期的展望』日本国際問題研究所、2012年、109頁。
- (8) 『RP 北朝鮮政策動向』第344号、2003年5月20日、3頁など。
- (9) ジョージ・W・ブッシュ (George W. Bush)、筆者によるインタビュー、於ワシントンD.C.、2003年7月4日。
- (10) たとえば、西田恒夫他「座談会 国際情勢の動向と日本外交」『国際問題』第516号、2003年3月、9-10頁を参照。
- (11) 『日本経済新聞』2003年6月3日；『朝日新聞』2003年6月3日（夕刊）。
- (12) エヤル・ベン＝アリ「日本の自衛隊—普通化、社会、政治」神谷万丈訳『国際安全保障』第35巻第3号、2007年12月、73-94頁。

【英語文献】

1. 初出の引用・参照

- ①【単行本】 Author, *Title*, Publisher, Year, Page(s).
- ②【論文】 Author, “Title of Article,” *Title of Journal*, Vol., No., Month Year, Page(s).
- ③【新聞】 Author, “Title of Article,” *Title of Newspaper*, Date of Publication, Page(s).
- *単行本の出版社の所在地やシリーズ名は、それがなくと出所が特定しにくくなる場合にのみ表記する。
- *新聞の場合、著者名、記事名は特に必要がある場合のみ表記する。
- *1つの注において複数文献を表記する場合は、セミコロン (;) でつなぐ。
- *引用・参照頁が複数にわたる場合、頁番号は完全表示とする。(例) pp. 145-149.
- *誌名は略称を用いない。

2. 2度目の引用・参照

- ①「Last Name, Title, Page(s).」 「Last Name, “Title,” Page(s).」 のように表記する。
- ②但し、同一資料を直後に引用する場合、「Ibid., Page(s).」 のように表記する。
- *Ibid.はローマ活字体で入力し、イタリックとしない。
- *op. cit., は用いない。
- *書名、論文名は、2度目以降の引用・参照については略称を用いてよい。但し、頭文字をとった略称を用いる場合、初出注においてそれを明示する。
- *著者などが4人以上の場合は、「et al.」を用いてよい。

(範例)

- (1) Ernst Nagel, *The Structure of Science*, Harcourt, Brace, and World, 1961, p. 25; Arms Control Bureau, Ministry of National Defense, ed., *The Republic of Korea[s] Position Regarding the Northern Limit Line*, Seoul: Ministry of National Defense, 2002, pp. 25-27.

- (2) Condoleezza Rice, "Campaign 2000: Promoting the National Interest," *Foreign Affairs*, Vol. 79, No. 1, January/February 2000, pp. 45-46.
- (3) Peter L. Hays, Brenda J. Vallance, and Alan R. Van Tassel, eds., *American Defense Policy*, 7th ed., Johns Hopkins University Press, 1997, esp. chaps. 1, 2, 13; Barry R. Posen and Andrew L. Ross, "Competing Visions for U.S. Grand Strategy," Michael E. Brown et al., eds., *America's Strategic Choices*, rev. ed., MIT Press, 2000, pp. 3-4, 15, 27.
- (4) James P. Thomas, *The Military Challenges of Transatlantic Coalitions*, Adelphi Paper, Oxford University Press, 2000, pp. v-vi, 35-36.
- (5) Ibid., pp. 3-5; Nagel, *The Structure of Science*, pp. 29-30; Posen and Ross, "Competing Visions," pp. 49-51 など。
- (6) Helmut Thielicke, *Man in God's World*, trans. and ed. John W. Doberstein, Harper and Row, 1963, p. 12.
- (7) "Petersberg Declaration," WEU Ministerial Council, Bonn, June 19, 1992.
- (8) "DoD News Briefing," Deputy Secretary of Defense Paul Wolfowitz, May 31, 2003.
- (9) "Bush Says U.S., Japan Fighting Common Threats Together," May 23 Joint Press Availability with Bush, Koizumi, U.S. and East Asia-Pacific Security, International Information Programs, U.S. Department of State, May 23, 2003.
- (10) U.S. Department of State, "North Korea: Humanitarian Assistance," Press Statement by Nicholas Burns, February 19, 1997.
- (11) U.S. Department of State, *Foreign Relations of the United States, 1964-1968*, Vol. 29, Part 1, Korea [hereafter *FRUS, 1964-1968*], U.S. Government Printing Office, 2000, p. 479.
- (12) たとえば、Michael R. Gordon, "How Politics Sank Accord on Missiles with North Korea," *New York Times*, March 6, 2001, pp. A1-2, A8 を参照。
- (13) *Le Monde*, June 2, 2003, p. 9.
- (14) *FRUS, 1964-1968*, p. 510.

【インターネット上の資料を用いる場合】

著者名、資料名、発行機関名、文書作成時（、頁）、[URL]（、アクセス日の順）。

*著者名の表記により不要になると判断される場合には、発効機関名は省略する。

*アクセス日は、入稿時に無効になっているものについてのみ表記する。なお、新聞社・通信社の記事についてはURLおよびアクセス日を省略してよい。

（範例）

- (1) 「SARSに関するAPEC行動計画（概要）」外務省、2004年10月、www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/apec/sars_kodo_g.html。
- (2) White House, *The National Security Strategy of the United States of America*, September 2002, p. 17, www.whitehouse.gov/nsc/nss.pdf。
- (3) Ibid., p.23.
- (4) Joseph Cirincione, "Nuclear Regime in Peril," *YaleGlobal Online*, May 17, 2005, yaleglobal.yale.edu/display.article?id=5728, accessed July 3, 2007.
- (5) "US Confirms N Korea Nuclear Test," BBC News, October 9, 2006.

【中国語文献】

以下の通り表記する。それ以外は日本語文献の表記法に準ずる。

- ① 【単行本】 著者名『書名（日本語訳）』出版社、出版年、頁。
- ② 【論文】 著者名「論文名（日本語訳）」『掲載誌名』期数、発行年月日、頁。

③【新聞】『新聞名』発行年月日。

*新聞の場合、著者名、記事名は特に必要がある場合のみ表記する。

(例) 李雲龍「亜太地区的総合安全合作（アジア太平洋地域の総合安全保障協力）」『現代国際関係』第5期、1996年5月2日、23-25頁。

【韓国語文献】

以下の通り表記する。それ以外は日本語文献の表記法に準ずる。

①【単行本】著者名『日本語訳された書名』出版社、出版年、頁。

②【論文】著者名「日本語訳された論文名」『掲載誌名』期数、発行年月日、頁。

③【新聞】『新聞名』発行年月日。

*新聞の場合、著者名、記事名は特に必要がある場合のみ表記する。

(例) キム・ヒサン（金熙相）『21世紀の韓国安保』典廣、2000年。

【ロシア語文献】

ロシア語文献は、アメリカ議会図書館（LC）方式に従ってラテン文字化し、以下の通り表記すること。それ以外は英語文献の表記法に準ずる。

①【単行本】Author, *Title*（日本語訳）, Publisher, Year, Page(s).

②【論文】Author, “Title of Article（日本語訳）,” *Title of Journal*, Vol., No., Month Year, Page(s).

③【新聞】Author, “Title of Article（日本語訳）,” *Title of Newspaper*, Date of Publication, Page(s).

(例)

(1) Mikhail Gorbachev, *Perestroika i novoe myshlenie dlia nashei strany i dlia vsego m ra*（我が国にとって、そして全世界にとってのペレストロイカと新思考）, Izdatel'stvo politicheskoi literatury, 1987, p. 125.

(2) Zoia Zotova, “Optimizatsiia vzaimootnoshenii mezhdu tsentrom i regionami（中央・地方相互関係の最適化）,” *Polis*, No.3, 1998, pp. 204-207.

(3) *Rossiiskaia gazeta*, August 9, 2000, pp. 1-2.

* 1つの注において日本語と外国語両方の文献を引用・参照する場合は、句点、セミコロン、ピリオドなどで区切る。

(例) 石津「解題リデルハート」252-257頁；中山「米国におけるインテリジェンス活動」79頁。Posen and Ross, “Competing Visions,” p. 3; Thomas, *Military Challenges*, pp. 6-9. 李「亜太地区的総合安全合作」23-25頁；キム『21世紀の韓国安保』。Gorbachev, *Perestroika*, p. 125.

* これ以外の言語を用いる場合は編集委員会に事前に相談すること。

【その他の事項】

・詳細につき不明な点は、*The Chicago Manual of Style*, 16th ed., University of Chicago Press, 2010 を参照のこと。

・編集上の技術的な問題（注様式の統一など）に関しては、編集委員会の判断で修正を行うことがある。

2012年12月8日